

生活スタイル得本

リササイズ

RESIZE

vol.18



イラスト さかいみる

福岡県在住。
2015年8月にLINEスタンプ
「メチャくんと仲間たち」リリース!
ホームページ <http://milart.info>
ブログ <http://milart.info/blog>

カレンダー

1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					3	4
					5	6
					7	8
					9	10
					11	12
					13	
					14	15
					16	17
					18	19
					20	
					21	22
					23	24
					25	26
					27	
					28	29

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					3	4
					5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

株式会社長崎材木店 リフォーム事業部

福岡県古賀市天神5-10-5 NAGASAKI TIMBER CORP.

0120-30-0354

TEL 092-944-3003 FAX 092-943-6208

<http://www.howsetop.com>

支店 —————

◎本社総合展示場

◎福岡西展示場

◎福岡南展示場

◎(株)長崎材木店リアルエステート

◎ランドシップカフェ

事業部 —————

◎注文住宅事業部

◎ログハウス事業部

◎リフォーム事業部

◎不動産事業部

◎ガーデン事業部



当社が手掛けたリフォームが受賞!

ダブル受賞

ジェルコ
リフォームコンテスト 2015年
全国戸建部門 優秀賞

・リフォームデザインコンテストに応募した3件全てが受賞するという快挙!施工事例はHPからご覧いただけます。

ジェルコ 九州支部
デザインコンテスト 2015年
九州木材青壮大連合会
九木青賞

～南北の逆転劇～

ご両親から譲り受けた築28年の家をリフォーム…。当所は、痛んだ箇所の補修と水廻り設備の交換の予定でしたが、打合せを重ねていくうちに、陽当たりのいい南側を普段使わない仏間と和室が占領し、家族団らんの場所は北向きの暗い空間に追いやられている事が判明。ご主人様の「南側をリビングにしたらいいのでは?」の一言でプランを一から練り直すことに。純和風の住いはデザインも全面的に見直し和モダンに。この先もっと永く住めるように耐震補強も施しました。壁や床に調湿効果が高い自然素材をふんだんに使い不快だった湿気も改善。とても居心地の良い空間へと生まれ変わりました。

《お家の中の一等地が家族の集まる団らんの場所に!》



◀ リフォーム前の仏間と和室

リフォーム前の広縁 ▶



正面の床の間はそのまま生かし、緑色の壁は白くて小さな花モチーフのモザイクタイル貼りに。

今回のリフォームでは奥様が大好きな「白」を、タイル・漆喰・塗り壁など、違う素材で使い分ける事でいくつもの表情を楽しむことができるのもこだわりのひとつです。



造作キッチン収納

かつて押し入れだったキッチンの背面には、オーダーでレンジ台と食器棚を作成。手元を隠すカウンターはダイニング側の収納も兼ねています。

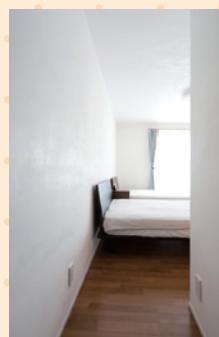


大工造作の洗面台

通気を兼ねた小窓がかわいいアクセント。

漆喰仕上げの寝室

元々は、湿気に悩んでいた子ども部屋を夫婦の寝室に。壁・天井は調湿機能に優れた漆喰仕上げ。ここにも趣きの違う白が。



トイレ

壁に貼った網代は昔の家の名残。

今回の受賞3作品の設計を担当した建築士 八川に聞いてみました!



一級建築士 八川一郎

Q. 設計士として念頭に置いていることは?

「作品」ではなく、居心地の良い『空間』づくりをする事ですね。お客様の笑顔を想い浮かべながら図面を描くと、あのすと自分も笑顔になっています。

Q. プランを考えるとき、新築とリフォームでは違いがありますか?

リフォームは『時間』や『想い出』を残してリファインする難しさがあります。その反面、喜びも∞無限大にあります。

Q. 今回の受賞の感想を!

第一にリフォームのきっかけをいただいたお客様に感謝いたします。そして、この建物に関わった全ての人の力に拍手!

◎ジェルコ九州支部 最優秀賞「影をコントロールして光を生かす」は次号のリサイズにてご紹介予定です。お楽しみに!



白木のスタッフ紹介

工事課 施工管理
～古木さん編～

日々奮闘し続けるスタッフの方を様々な角度から紹介する「スタッフ紹介」コーナーです。

今回は施工管理の古木さんにとことん密着しました！

今回も
とことん密着させて
いただきます。



ARIZONA 白木

広告会社勤務。冬の寒い日でもジャケットの中は半袖シャツで日々奮闘中。目前の目標は体重10kg減量!! 今度こそ! 今度こそは必ず実現します!!

古木さんのある1日



本日の1件目は古賀市S様邸で構造調査。
「いってらっしゃい！」



移動後、古賀市のK様邸にて
リフォームを始める前の
事前の構造調査です。



床下の調査は、専門の会社に
調査してもらいます。



床下の状況です。
特に問題は
なかったようです。



床下調査の間に、古木さんは
現状の把握作業です。



営業の吉田さん(手前)と
設計士の八川さん(奥)も
確認作業に来られました。



天井裏がたわんでいるので、
原因解明も含め屋根裏へ。



屋根裏を調べ、現状を図面に
正確に記載していきます。



営業の吉田さんと
設計の八川さんも
確認作業のお手伝いです。 リノベーションの施工管理です。



場所をI様邸に移動し、
リノベーションの施工管理です。



一旦会社に戻り事務処理後、
次に着工するリノベーション工事の
近隣へのご挨拶回りです。



本日最後の訪問は、
香椎のK様邸で、
着工後のお引き渡しです。



6月にリサイズで
設計士の八川さんに密着した
K様邸が完成しました。

K様邸に関わった大工さん



K様邸に関わった
大工の村井さん(右)と
田中さん(左)です。

白　木:「古木さんの大事にしていることは何ですか?」

古木さん:「『和』ですかね。」

白　木:「具体的に言うと。」

古木さん:「現場とお客様で、どうしても認識の違い(ズレ)が
出てくるので、調整しながらうまくまとめていきたい
と思っています。」

白　木:「今、一番考えていることは何ですか?」

古木さん:「もっとうまく人を活かす方法を考えています。」

築90年の鶴舎をアトリエに
時の流れを味わい、エイジングを楽しむ

リノベーション
Renovation
Works

長崎材木店 リフォーム事業部

ジェルコ九州支部
デザインコンテスト 2015年

特別賞

after

「人がかくくなるような場所をあえて見せたい」と、建物の構造に不安がないように最低限の修繕を行い、時の流れを感じさせる古さを大切に守った

○ナカニ
在住
高齢者



上／かつて展示会で使ったリースを
独自にアレンジしてランプシェードに。
右／外壁は銅板で覆った。緑青による
外観の変化が楽しめる

- ・できるだけ手を加えずに残す
- ・新しいものは古いものになじませたい
- ・「時間軸」を感じさせる素材の選択
- ・見た目に影響しないように構造を補強



自然に囲まれた立地を活かし、果実を実らせる木を植えてエディブルフォレストにすることも構想中

大切にしたのは「できるだけ手を加えない」こと。「土壁や昔のままの状態で残っていた屋根の垂木は素材のテクスチャーを活かすこと

木立の中で緑錆を帯び、鈍い輝きを放ちながら佇む。この建物はアクセサリー作家・○さんの自宅の一部にあるアトリエ兼ギャラリー。東京でアクセサリー作家として活動していた○さんが、新しい創作活動の場を求めて、お祖父様が暮らしていた古民家を受け継いだのが今から2年前のこと。母屋の2階をアトリエにしていたが、ギャラリースペースをつくるために敷地内にある築90年の鶴舎をリノベーションすることとした。

木立の中で緑錆を帯び、鈍い輝きを放ちながら佇む。この建物はアクセサリー作家・○さんの自宅の一部にあるアトリエ兼ギャラリー。東京でアクセサリー作家として活動していた○さんが、新しい創作活動の場を求めて、お祖父様が暮らしていた古民家を受け継いだのが今から2年前のこと。母屋の2階をアトリエにしていたが、ギャラリースペースをつくるために敷地内にある築90年の鶴舎をリノベーションすることとした。

90年前の職人が建てた
そのままを受け継いで

「家づくりの本」2015年秋号掲載 宮若市 O様邸



建具の仕上げには天然ハーブの成分を使った保護剤を塗布。緑がかったグレーの古ぼけた風合いが空間に馴染む



明かりとりに天窓をつくった。窓枠は古い足場材でつくって、新しさが目立たないように気を配った



「既製品はこの空間には合わない」と窓も網戸も木枠からつくりあげた。網戸のメッシュは昔ながらの金網製。素材感にもこだわった



藁をねりこんだ土壁、木造軸組が露わになった空間にいると、まるで職人の息づかいが聞こえるよう



shop info

テーマは「時間」 悠久の時を感じる鉱物、 天然石のアクセサリー

鉱物や天然石、アンティークピースをつかったアクセサリーの製作を手がけるOさん。地球上に存在しながら、何万年という時間を経て見出された美しい鉱物を、インドやネパールやタ

イへ買い付けに行き、独自の視点でセレクト。彫金、手編みなどの手法と組み合わせてアクセサリーに仕立て、販売している。このアトリエはギャラリーとしてもオープン予定(2015年9月)。自分の作品以外にも輸入雑貨や他の作家の作品も展示販売している。

『うつしき』福岡県宮若市原田1693 <http://utusiki.com>

O様邸棟梁 佐々木はこう語る。

【佐々木大工のコメント】

施主のO様は、ご自身の感性を大切に仕事をされている上、今回主役となる建物は築90年の鶏舎。現代のモノと90年前のモノの経年劣化をいかに自然に融合させるか…。思ったとおり、それ以上に手のかかる作業の連続でしたが、最後にO様に大変ご満足いただき、とても嬉しい思いです。これまでの経験を生かし、自分らしい仕事が出来ました。



昔の土壁、古い垂木
圧倒的な存在感を活かして
「長崎材木店」のリフォーム事業部の八川さんは、古の職人が魂を込めてつくったものに敬意を表すOさんに共感。最低限の加工で安全性を確保しながら、エイジン

フック式の鍵もレトロ感たっぷり。「仕事でインドや東京に行くたびに考えが変わり、打ち合わせに1年ほどかかたけれど、おかげで今は自分の好きなものに囲まれて過ごす心地よさを味わっています」。場のパワーを整えたことは、Oさんの創作活動にも変化をもたらした。「目に映るものでいやなものがないせいか、感覚が研ぎ澄まれ、要らないものを判別できるようになった気がします」。場所が活きて、作品が生きる。Oさんは空間の力を味方につけたようだ。

を考えました。僕は仕事でものをつくっていますが、『デザインしないことが「デザインの到達点」だと考えています。だからこの空間も、何もしないままの状態が力強い、と思ったのです」。



【アトリエ】

余計なもの、過剰なものは排除してつくりあげた空間には、Oさん自身のものづくりに対する考え方方が表れている。一つの妥協もない理想の創作拠点だ



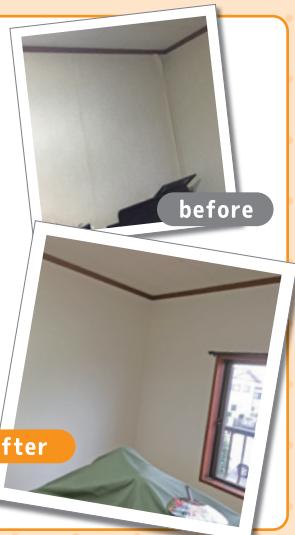
メンテナンス事例紹介コーナー

メンテナンス課
ハンディマン

壁紙の張替え

先日、T様よりご依頼を受けて壁紙の張替えを行いました。現状確認にお伺いすると、経年劣化による剥がれや継ぎ目の浮きが目立ち、部屋全体がくすんでしまっていました。壁紙を新しく張替えるだけで見違える様に明るくなり、大変お喜びいただきました。

《ハンディマン 江崎》



外装材の部分補修

《ハンディマン 古山》

K様邸にて外装材の部分補修をさせていただきました。お家の内部の小工事はもちろん、外周りのどこに頼んだら良いかわからない修理や補修も、ぜひ一度ハンディマンまでご相談ください。より良いご提案をさせていただきます。



ハンディマンの 新サービス

網戸・障子・襖をお客様が直接弊社に持込・引取されると
特別料金(4割引)になります。※詳しくはお問い合わせください!

新年あけましておめでとうございます。

新年あけましておめでとうございます。長崎です。

昨年はライフスタイル型の展示場「ウッドビレッジ」のオープンやそれと平行してガーデン雑貨のお店「ビオフレーム」、ガーデン事業部の「ESTINA」、メンテナンス部門の「HUB」の稼働、マキストーブの販売施工「WOOD STOCK」、そしてテレビCMと動きの大きな一年となりました。



CAFÉ「LAND SHIP」の改裝も昨年10月に終え、次なる仕掛けはリノベーション。糸島に築35年の古家を私のティストに合わせてリノベーションしていくこうと考えています。同時に保有林のある浮羽の山「浮羽ロッジ」の植林整備、そしてキャンプ施設



も整備する予定で考えております。また近況としては、このたび有志とともに「福岡アウトドアクラブ」というNPOを立ち上げ、ライフセービング活動の支援からカヌー教室、森林保全活動などと家のこと以外でも活動のフィールドを広げてまいります。

このように私たちの活動領域は、海へ山へと広がりつつあります。名前は材木店ですが、業態は変幻自在なのです。

さて、人間50にして天命を知ると申しますが、人々の暮らしの空間をいかに心地よくするか、いかに上質な物にするかというのが、私が天から与えられたテーマなのではと、50にして感じさせられます。

不動産、リノベ、リフォーム、新築という作り手の都合によってカテゴライズされた物ではなく、上質な住空間の提案、住まいから家具からグリーン、マキストーブまで出来るライフスタイルを提案してまいりますので、乞うご期待ください。

代表取締役 長崎 秀人

